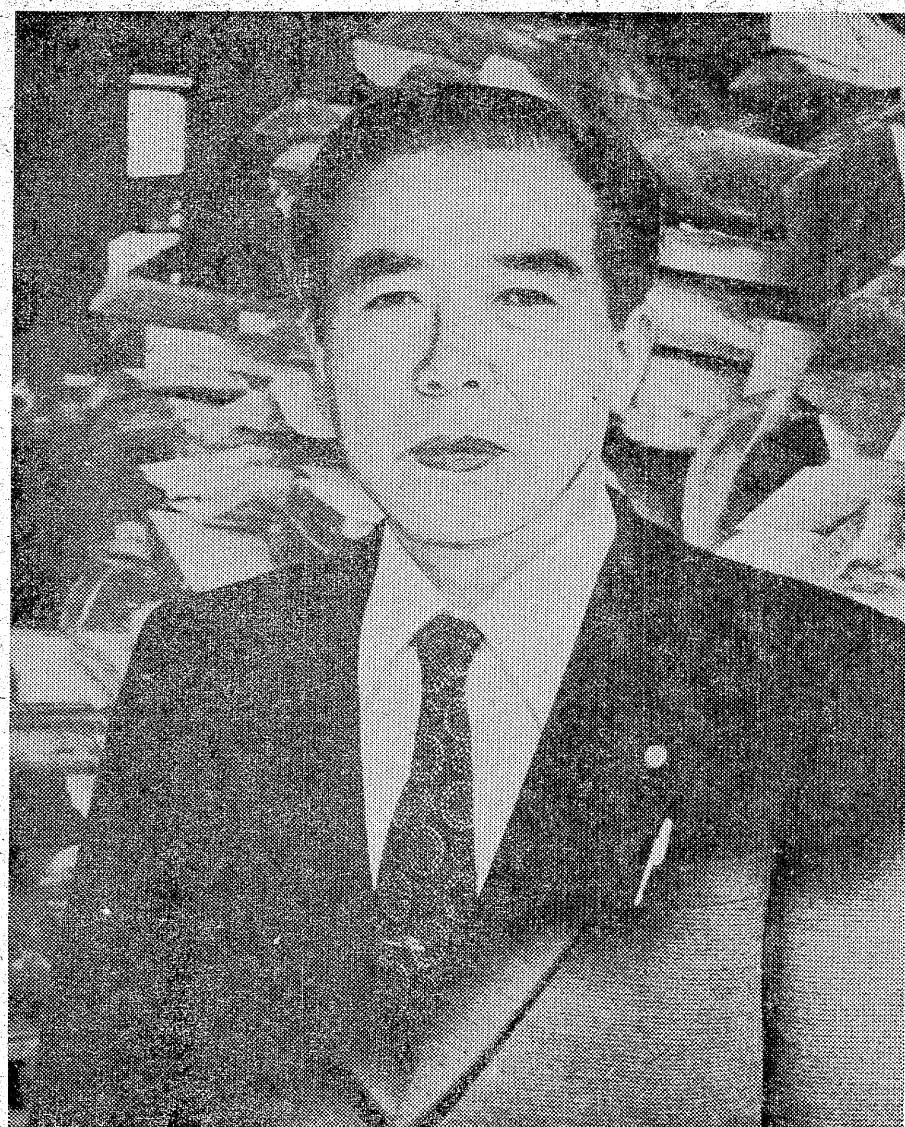


物入材で大企業へ

SATURDAY
談話室



「山主さんの好意は片時も忘れたことがありません」と語る芳賀社長

芳賀社長の次女、芳賀磐氏が、親から離れ、木材製業を始めたのは終戦直後です。木材屋に生まれ、木材屋で育ったオレだ。木材のことは、いつでもウチでやれる。が、社会経験は、ウチでやられていたんだ。たとえ、日本中の木材屋がつぶれるようなんとかあっても、オレは必ずやりたい」と語る。昭和6年、高小卒業

「ワタシが、親から離れ、木材製業を始めたのは終戦直後です。木材屋に生まれ、木材屋で育ったオレだ。木材のことは、いつでもウチでやれる。が、社会経験は、ウチでやられていたんだ。たとえ、日本中の木材屋がつぶれるようなんとかあっても、オレは必ずやりたい」と語る。昭和6年、高小卒業

芳賀社長は、漁師町の木材業者、芳賀社長の次女、芳賀磐氏が、親から離れ、木材製業を始めたのは終戦直後です。木材屋に生まれ、木材屋で育ったオレだ。木材のことは、いつでもウチでやれる。が、社会経験は、ウチでやられていたんだ。たとえ、日本中の木材屋がつぶれるようなんとかあっても、オレは必ずやりたい」と語る。昭和6年、高小卒業

社長さん

芳賀木材(合資)社長

芳賀 磐 氏

